

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
家事支援技術Ⅱ Housekeeping Support Technology Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
生活技術論				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟・3F			授業中に指示します
授業の概要				
自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。生活支援としての洗濯・掃除・ゴミ捨て・衣服・寝具の衛生管理や裁縫・買い物・家庭経営や家庭の管理など、基本的な生活運営ができるよう技術を体得する。				
授業の目標				
基本的な生活運営がスムーズにできるよう、また利用者の状況に応じた介助支援ができるようにする。				
授業の方法				
テーマに沿って、実習・実技と知識で、より家事支援技術の実践・応用力をつける。				
学習の成果(学習成果)				
利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにできることが、実践の場で求められるため、細かな支援に気づき、行動できるよう、発表や作品製作の紹介をとおして、考え方を共有し今後の支援の応用力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	衣類・寝具の衛生管理①			
第2回目	衣類・寝具の衛生管理②			
第3回目	衣類の汚れ落とし			
第4回目	洗濯の方法、素材別、洗剤の種類、干し方			
第5回目	衣類の補修、衣類の保管			
第6回目	障害者別、衣類のリフォームの製作			

第7回目	掃除のしかた、高齢者居室の掃除・注意点		
第8回目	ゴミ捨て、分別・エコライフ		
第9回目	買い物支援、家庭経営支援		
第10回目	家計管理/移動手段、支払い方法、購入方法		
第11回目	睡眠の介護・技術支援、補助マット利用		
第12回目	自立に向けた生活支援、安眠を促す介護		
第13回目	家事に参加することを支える介護、自立に向けた技術支援① (節季の室礼)		
第14回目	家事に参加することを支える介護、自立に向けた技術支援② (香・色彩)		
第15回目	安眠を促す支援、温熱効果、補助寝具、QOL向上のための支援 まとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	実習・実験・製作など毎回異なる内容の授業に、積極的に参加し取り組むことができたか。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容(態度含む)		60%	学生自ら、創意工夫した個人制作物を発表しているか、支援の方法を共有し、家事支援技術の支援の幅を広げることができるようにしているか。
その他		20%	実習・実験・製作品の提出物の完成度は丁寧であるか、期限内に提出されたか。
教科書と参考図書			
授業時に資料を配布する。生活支援技術Ⅱ(中央法規)1年次使用テキスト。くらしの豆知識(国民生活センター)			
履修上の留意点・ルール			
毎回時間授業内容が異なり、準備物や提出物があるので注意。			